夕刊
磐城時報
十一日
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

四倉港の擴張工事
新妻町長等陳情
他縣の船を收容し切れぬ

工費十五萬圓で更に第二期の船溜場擴張工事を叫んでゐる四倉漁港修築に關し新妻町長の一行は既報の如く此程出縣陳情した。

同港は去る昭和七年總工費四十四萬圓を投じて着工、現在北側船舶入港口の浚渫工事を殘して完成を見、港内約七千坪の船溜場に地元の船舶八十隻を收容してゐるが、鹽釜銚子兩港の中間にある關係から他縣船の出入多く殊に昨今の如き鰯豊漁の場合は著しく船溜場の狹隘を告げて地船等は水揚不能に陥つてドシ〳〵小濱、江名、中の作の各港に水揚げするの已むなき狀態になるといふ。

遊興客を裝つて
歸りがけに盜む
追手を七首で脅かす

十日午後七時頃内郷村昭和館脇飲食店泉屋へ登樓し酒一本を命じ飲食して金三十五錢の勘定を濟ましたので送り出さんとするや矢豈にて了つたが、該怪漢の風体は悠々と町田方面へ逃走し脇の衣桁に掛つて居た女中の着物一枚を小脇に抱へて逃走せんとしたので家中總出で漸く取返すや、怪漢は三圓餘を呑み逃げした犯人と同一体であるらしいと。

騒いで居る隙に侵入して女物お召袷一枚を窃取町田方面へ逃走せんとしたので氣丈な同家女將は追跡し追付いて該品物を取返さんとするや、怪漢は懷中から匕首を出して付きつけられたので立方の排水ポンプを据付け破壊して全力を傾倒し四百三交替制を以て作業に從事して居るが一時間の排水進行は四米と言はれて居り會社では炭需要期と來年度から實施される石炭液化を目睫に控へた事であり、仄聞する處に依れば液化候補炭礦との風説もあり、是れに備へるためにも炭量豊富なる同住吉本坑の完備採掘を焦眉の急とされて居る關係から極力坑夫を增員し縣賞

縣賞金を附して
住吉坑排水作業
近く完了の見込み

磐城炭礦住吉本坑の出水も現在では殆んど停止狀態にて居るので近日中には中央本線下馬背に築いたダムを破壊して全力を傾倒し四百立方の排水ポンプを据付け三交替制を以て作業に從事して居るが一時間の排水進行は四米と言はれて居り會社では炭需要期と來年度から實施される石炭液化を目睫に控へた事であり、仄聞する處に依れば液化候補炭礦との風説もあり、是れに備へるためにも炭量豊富なる同住吉本坑の完備採掘を焦眉の急とされて居る關係から極力坑夫を增員し縣賞付の特典を以て進行に當つて居るので近日中には中央坑まで排水、從來の出炭量を見るものであらうと。

年末に
貧困者救濟

ゐる家族のため平町社會事業助成會では既報の如く同情袋を作り配布する事になつたが十四日、十五日兩日方面委員、區長、青年團員愛國婦人會員等が左の各町を夫々手分けして寄附を募集する事になつた。

十四日長橋町、研町、古鍛冶町、紺屋町、材木町、鍛冶町、南町、大町、十五丁目、一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、新川町、月見町、堤ノ内十五日　鎌田町、立町、大工町、南白銀町、田町、搔揶小路、鐵道官舍、八幡小路、久保町、北目町、胡摩澤、北白銀町、仲間町

十三日會で
蓮沼氏講演

平町十三日會では十二日午後二時からマルトモホールに修養團主幹蓮沼門三氏を招き座談會を開くが、氏は同夜赤井嶽の一夜講習會に臨み、十三日午後一時から平第三校で修養講演會を催ほす。

脅迫されて保證したと
安藤書伯を告訴

神谷村下片寄農新妻新右工門（四七）は郡山市清水臺畫家安藤廣吉（四三）を平署に脅迫詐欺で告訴した。

一昨年七月平町に居住中の安藤は磐城無盡會社から二百圓を借り入れる際保證人になる事を脅迫して無理に保證人に仕上げ其後六ヶ月間掛金を支拂つたきり郡山に移住して殘金百七十余圓の督促が新妻方に來るといふのが理由だが、安藤は脅迫を否認してゐる。

内郷の火事
三年無火災水泡

内郷村大字綴三代太郎（三七）方から十日午前六時頃發火同家を全燒し七時鎮火した原因は蠟燭の火の不始末で損害約七十圓、同村消防組は今年十二月で三ヶ年間無火災のため表彰される事になつてゐたが、今回の火災で水泡に歸した。同家の主人三郎は精神病者で間口九尺、奥行二間の家に住んでゐたものである。

水害豫防組合
解散協議

平町外二ヶ村より成る水害豫防組合總會は十二日午後一時より平町會議事堂に開き十年度決算並に組合解散の件を附議する。

錦村の
屠場認可

石城郡錦村の簡易屠場認可申請は金成錦村長は去月下旬來數回出縣促進運動を行つた結果知事の認可を得たので近く設置する事になつた。

▲**町村長會**　石城郡町村長會では十日平町役場に總會を開き社團法人雪團更生協會の東北及び北海道振興陳情書に調印した。

▲**青年校査閲**　平、平窪兩町村青年學校聯合査閲は十九日平第一校で行ふ佐藤大佐である。

▲**藤本巡査出縣**　平署藤本衛生内勤巡査は十二日福島市に開かれる退職金並に手當法講習會に出席する。

▲**入營兵送別**　平町北目青年團入營兵送別會を十三日夜町會議事堂に開く

▲**城山に配水管**　平水道部では平町城山營林署前通り配水管架替工事に九日から着工した。

▲**青年校視察**　縣青年學校視察委員近藤太郎氏は十二日來平、平町青年學校の教務を視察する。

觀世流
素謠會

觀世流謠曲研究會では十二日午後六時から平町五町目吉田屋で素謠會を催ほすが番組左の如くである。

賀茂、夜討曾我、卷絹、葵上、小鍛冶

銘酒福美
好評を博す

大藏省主管全國第十一回清酒品評會に於て優等賞を受賞した内郷村四家吟醸の『福美』は愛飲家の定評ある品として年始來客の食前に一般家庭から好評を博して居るので吟醸元は其賈捌に忙殺されてゐる。

非公認の團体に
基本金の要ありや

炭礦就勞者の災害は坑中に於けるものが殆んどであり互ひに注意緊張を强化する精神的結合の團体であり、同坑町田堅坑には更生會と稱して之れは會社が指導してゐる團体であるが、斯る團体ですら基本金の必要は認められないでゐるのに、非公認の町田防災團互助會が營利的なる興行を行つて基本金を要する積極的な防災活動が實施されるや窺はしいものとされて居る。

巡査を毆つた
片割れ捕はる

去る六日夜同僚三名と共に喧嘩の取押えに入つた小名濱町駐在巡査渡邊孝雄氏を毆りつけ逃走した小名濱町橋本馬上政治方漁夫菊地勇（二二）は平署で捜索中の處昨夜歸港した處を捕はれ平署で取調中である。

決算期和洋帳簿傳票
友
數百種
當用日記ポケット日記
無慮百二十種
◇新年エハガキ・文字ハガキ・カルタ・トランプ・アルバム類
◇パイロット萬年筆贈答用美麗函付
マルトモ　柴田書店
平町四丁目　電話234・124番

コンポーク
塩豚
平町田町
三二三屋
電話三二三番

盛況御禮と（日延御案内）

◎七五三と歳末福引大賣出し開催中の處
日々大盛況御禮として

十二月二十日迄
福引大賣出し

三井呉服店
電三八・二八四

平町役場
平商工會
平消防組
推奨

火災保險
料金安ク
確實ナル

日本共立火災保險株式會社

一、保險料（平町ノ理想トスル）
金壹千圓ニ付金七圓也（建物モ動産モ同率）
一、當會社ハ英米二十數個ノ大會社ニ再保險ノ特約アリ
如何ナル巨額ノ支拂モ容易迅速ナリ

平聯合代理店

五町目電六六番　井上貞治郎
住吉屋本店内電一五九番　石田吉五郎
紺屋町電四七六番　吉田寅之輔
二町目關内電一六番内　阿部助次郎
南町玉よし電四二六番　鈴木長三郎

築新部理料
五週年記念サービス

擊料理部新築五週年記念として忘年會、新年會を特に勉强致します、何卒御利用願ひます。

忘年會
新年會

費金一圓五十錢より
（御料理、御酒、藝妓共）

料理人、女中、番頭多數揃へて御客様にサービス致します。

平町
住吉屋本店
電話一五九番

かまぼこ製造
折詰
お惣菜用さつま揚・吉原揚

平町一丁目
天福亭
電話一四一番

干やなぎ
いか切込
の御注文は

是非
仙魚店へ

美味…体裁優美は
當店のモットーです
鰹節・鹽辛
鮮魚仕出し

丸仙
電六六二番

冬物
洗ツテモ縮マヌ毛シヤツと
新柄婦人シヨール

殿方用縮双毛シヤツ
¥2·50……3·30

婦人ショール
本ラクダ ¥7·50…9·50
新柄 ¥1·50……

平四 **ヤルツ**
電140

魚沼すぶら
ヒラメ凍魚
ぶり
○
おいしい

配達ハ一尾一箱
即時速ニ致マス

日本水産ト特約（電三八・三二六番）
白魚　エビ　鯛　マナ鰹　ワカサギ
カナ頭　甘鯛　帆立貝　うに貝燒

卸小賣
平製氷會社
平代理店
印刷屋
五二八番

◎新鮮な冷凍貝燒あります

食事
喫茶
酒場

イワキ サロン
男給の店
平・田町
（電三五二）

診療
夜間

胃腸
内科
胃腸病科

性病
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚科
肛門病科

專門
松村胃腸性病科醫院
平町南町（電一〇七番）

石城郡内郷村宮大字竹ノ内
石碑彫刻
專門
吉田石材店
彫刻師 玉峰 吉田孝一

開業廣告
齒科一般
平町田町（安濟醫院向）
齋藤齒科
東京齒科醫學士 齋藤賢三

互融會事業近況

融通（自十月一日至十月廿一日）現在
報告
會員數　五、〇〇七口
世帶數　三、四三八戸
積立金四一・三六六・二錢
融通數　七七四口
融通金額四八・六六七・二七
融通金回收高
一〇・四三六・二〇

一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、稅金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ奬勵
一、小資本金ノ相互融通

太平火災海上保險株式會社平中央代理店
石城中小商工互融會
事務所　福島縣平町搔槌小路一番地

小名濱方部　小名濱町古港
菊田方部　植田町臺町
湯本方部　湯本町天王崎
相双支部　原町東一番町

三百年の歴史を有する
家傳靈藥
相馬ハンサキ
消食散
一名かげの藥

平町天町
代理店 **丸龜商店**
電話一三三番